

第7回目黒マルシェ

文化の日、衣食住の感謝祭を体験！目黒通りにて「目黒マルシェ」開催 ～「目黒通り」が「マルシェ会場」に変わる2日間～

インテリアストリートで行われる、大人も遊ぶ秋の収穫祭

「目黒通りでピクニックしよう！～ STREET PICK-KNICK／ストリート ピクニック」が今回のテーマ。来場者が目黒通りをピクニック気分で楽しめるよう、目黒通りのお店と、歩道の出店者が目黒通りを賑やかす。飲食店はテーブルを外に出し、「2日間だけのオープンテラス」を目黒通りに出現させる。インテリアショップはお店の倉庫に眠るお宝をお店の軒先に陳列し「蚤の市」を開催。飲んで食べて、ショッピングとピクニックも出来る2日間となる。

今回はMISC 開催のGaRAKUTA市(ガラクタイチ)と同時開催。GaRAKUTA市は海外の蚤の市をイメージしたイベントで、アンティーク家具と、フードやライブ演奏が雰囲気を作る。(GaRAKUTA市は2日のみ)





目黒通りには元々競馬場があった歴史があり、その元競馬場前交差点前にて販売される「馬サブレ」は目黒マルシェだけでしか買うことが出来ない焼き菓子。前回に引き続き新作「黒い馬サブレ」が限定販売。今回新たに発売される「馬石鱈」と「馬キャップ」も地元目黒の歴史を伝える特産品として、元競馬場前の歩道にて販売予定。



子供が楽しめるイベントも。「こびとづかん×目黒マルシェ」目黒通りにて隠れた「コビト探しゲーム」が行われる。子供たちは地図を片手にコビトを探し、目黒通りを歩く。

もう一つは子供達が職業体験のできる「キッドニア目黒」。子供達がポップコーン屋さんや綿アメ屋さんで目黒マルシェに参加することができる。





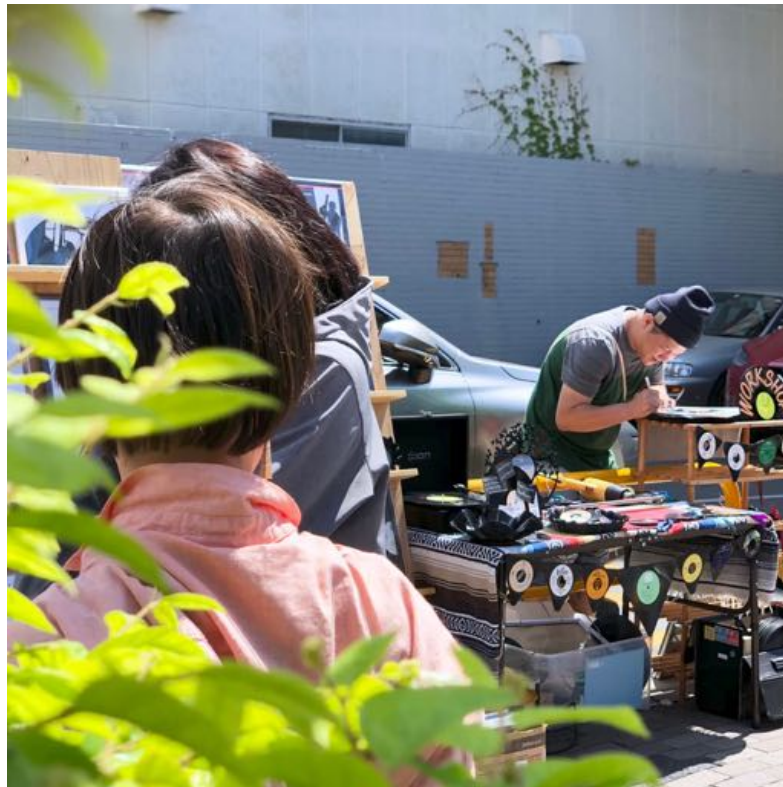
食欲の秋ということで、目黒だけでなく全国から名物も集合する。普段、目黒通りで青空市場を開催している「時間の市場(ときのいちば)」は、全国の農家さんとの企画を開催。普段は農業を行なっている農家さんがこの日のために全国から集い、それぞれの田舎料理を振るう。養蜂場のオーナーが、自ら自分で搾ったはちみつを販売したり、東京ではなかなか見かけない地元の特産品を販売する。







芸術の秋にちなんだイベントも多数開催。表現者を応援したいという思いから、アクセサリや陶器などの作家さんが多数出店。アクセサリ作り体験や編み物体験、オリジナルキャンドルづくりなどのワークショップも各ブースで行われる。来場者にも「ものづくり」を体験してもらい、作家さんとのふれあいの場をつくる。





「目黒マルシェ」のこだわりは、海外のような公道で行われる自由な雰囲気ストリート・マルシェ。認可の下りにくい日本の公道で行われるのが、目黒マルシェの特色である。

「目黒通り」が「マルシェ会場」に変わる2日間。「目黒マルシェ」を歩かないと出来ない「体験」があります！





■ 「目黒通り」とは

繁華街から少し離れ、落ち着いた大人の雰囲気がある目黒通り。

オーダーやヴィンテージなどを中心とした、「こだわりのインテリアショップ」と日本らしい「昔ながらの情緒の有る街並み」の両方が共存している通りで、通称「インテリアストリート」と呼ばれています。都市開発の進む東京で、個性的なオーナーの小さなお店がまだ残っている地域です。インテリアやライフスタイルに興味の有る方はもちろん、野外デートとしてインテリアショップを見て周り、鰻や蕎麦、焼き鳥やさんで休むのもオツです。

有限会社 マルニヤ物産のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrhp/company_id/38782](https://prt看mes.jp/main/html/searchrhp/company_id/38782)

【本イベントに関するお客様からのお問い合わせ先】

目黒通りIIP

Tel : 03-3710-2990

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

目黒通りIIP

担当 : ヤマモト

Tel : 03-3710-2990

Fax : 03-3710-2929

E-Mail : info@analoglighting.com